

令和2年10月9日

職 員 各 位

市 長

令和3年度予算編成における基本的な考え方

新型コロナウイルスの感染が全世界に拡大し、我が国においても収束が見通せない中、令和3年度の予算編成が始まります。

新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の自粛・停滞等により、国・地方を問わず、税収への大きな影響は避けられません。

国の令和3年度地方財政収支の仮試算（概算要求時）では、地方税の大幅な減少、地方交付税も原資となる国税4税の減収に伴う減少を見込んでいます。これらの影響による財源不足に臨時財政対策債の増発を充て、ようやく令和2年度並みの一般財源が確保されているのが現実です。したがって、新型コロナウイルス感染症への対応経費や、社会保障関係費などの自然増、当然増の財源が手当てできていません。

近年、本市においては、当初予算要求ベースで20億円を大きく超える歳出超過となっていました。令和2年度の予算編成では、枠配分による一般財源の削減を、皆さんの不断の努力で概ね達成し、要求ベースの歳出超過額は11億円まで縮小したところです。

その一方で、このような状況下にあっても、都市経営上の主要な施設である新学校給食センター、さらには新保健福祉施設等々の整備を進める必要があるなど、持続可能な財政運営が維持できるか否かの関頭にあります。

さらには、「新しい生活様式」を強いられる中で、「コロナ後」の時代の、地方自治体の在り方が、根本から問い直されていると考えなければなりません。

そのうえで、令和3年度予算編成は、全職員が、「例年どおりの予算編成はできない」という前提で、限られた財源を、やはり苦境に立たされている市民が真に必要な施策に振り向けるため、全事務・事業において、中止、休止、延期など大胆な見直しに取り組んでいくことが求められています。

厳しい状況の話ばかりになってしまいましたが、この難局を乗り切ることは、我々に課された歴史的使命であることを、強く認識していかなくてもなりません。皆さんが積み重ねてきた英知を結集すれば、自ずと答えが見つかるはずです。私も、皆さんの先頭に立ち、難局打開に向けて、皆さんを牽引し、そして、私の責任において最終的な判断をしていきます。課内、部内等にとらわれず十分な議論を尽くし、最善の予算要求とされるようお願いします。

日々の業務に邁進されている職員の皆さんご自身のためにも、ご家族のためにも、心身ともに健康に十分留意されることを祈念して、結びといたします。